

# 会議・協議等記録簿

議 題	<b>第 2 回佐久市生物多様性専門家会議</b>		
日 時	令和5年7月26日（水） 13：00～15：00	場 所	オンライン会議
出席者	委 員：出席7名 事 務 局：環境保全係長、コーディネーター		
<b>会 議 ・ 協 議 等 事 項</b>			
<p>1 開会</p> <p>2 会議事項</p> <p>（1）調査実験業務の進捗状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6月30日から開始した調査地点10箇所、植生調査、動物調査、動物痕跡調査、植生回復柵について報告した。途中データとして、ライトセンサスにて牧場内312頭ニホンジカを確認したことを伝えた。</li> </ul> <p>（2）地域振興局による測量調査について（佐久地域振興局 林務課）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 佐久地域振興局の協力を得て、調査地7（河畔林、ササ地、土壌露出地）の法面の土壌流出による凹凸の変化確認のため7月と10月に測量を行うことを伝えた。</li> </ul> <p>（3）防災科学技術研究所の実験について（防災科学技術研究所）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災科学技術研究所と亀岡電子株式会社による調査地4の側溝、調査地7の河畔の水位変化の計測が行われることを伝えた。</li> </ul> <p>（4）絶滅危惧種の生息状況及び保全について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査地2において、植生回復柵内においてヤエガワカンバ（環境省、長野県準絶滅危惧種）の実生を確認し、調査地9においてサナギイチゴ（長野県留意種）を確認した。</li> <li>・ また、調査地付近にツキヌキソウ（環境省、長野県絶滅危惧Ⅱ類。長野県 希少種指定）を確認したことを伝え、長野県環境保全研究所より保全について指導を受けた。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヤエガワカンバ、実生：継続的な保全が必要。</li> <li>・ サナギイチゴ：継続的な観察が必要。</li> <li>・ ツキヌキソウ：積極的な保全が必要。</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: center;">来年度、環境保全研究所も再度、生息確認を行う。</p> <p>（5）その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域説明会の参加者は6人だった</li> <li>・ アンケートの結果、生物多様性の認知度が低い</li> <li>・ 佐久市の環境基本計画の中でも生物多様性戦略を立てている。今後、どう対応していくのか佐久市の検討が必要との意見があった。</li> </ul> <p>3 閉会</p>			